
西洋占星術の本質

西洋占星術とは、夜空に輝く、実在の星の動きを元にした占いです。

占星術の起源は古代バビロニアの天文観測にあるとされています。よく天体を観測しているうちに、「地上での出来事と空の星たちの動きが関連しているのではないか」と考えたところから、占星術の歴史は始まります。

占星術は、読んで字のごとく「星」を使った占いですが、その星とは何のことをいっているのでしょうか？

星占いとして世界中で最も有名なのは、十二星座占いでしょう。雑誌やテレビでもおなじみの、誕生日に応じて魚座や蠍座などの十二種類の星座に人を割り当てる占いです。本書の読者さんであれば、これが西洋占星術の一部であるということはご存じでしょう。

しかし、占星術が占う対象としている「星」というのが、この星座のことなのかというと、それは違います。

空にはたくさんの星が輝いていますですが、そのほとんどは互いの位置関係を保ったまま1年かけて空を一周しています。夏の大三角形や冬の大三角形など、聞いたことがあると思います。いわゆる星座を構成することのような星は恒星と呼ばれていますが、こうした恒星は、律儀に季節ごとに毎年同じ顔ぶれで夜空を彩っています。

それに対して、一部の星は、恒星とは異なる動きをしています。恒星とは反対の向きに進み、時には進行方向を変えたり楽しく自由に動き回っています。これが惑星です。肉眼では5つの惑星が観測できます。それに太陽と月を加えた7つの星（≡天体）が、地球上の人間たちの運命に影響を与えているのではないか。この考えが占星術の元になったのです。今日では、望遠鏡の発展によって観測可能になった、天王星・海王星・冥王星の3つを加えた十大天体こそが占星術であつかう星であり、占星術の主役です。

西洋占星術という占いを一言で説明するなら、この十大天体のそれぞれの状態を分析する占いであるといえるでしょう。占星術には、サインやアスペクト、ディグニティなど様々な横文字の用語が登場しますが、これらはすべて、天体の状態を分析するために使われる技法なのです。

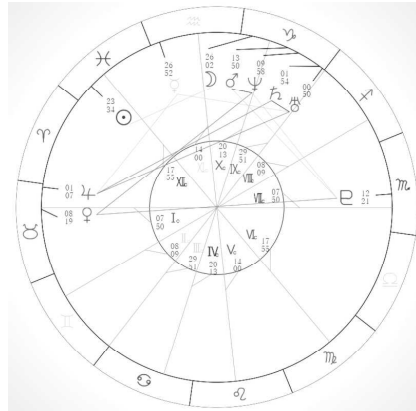
では、十二星座とは何なのか。それは天体の位置を示すための住所です。天体の状態を分析する際に、天体がどこにいるかを、誰にでも客観的にわかるように伝えるなら、空の地紋のように張り付いている星座を場所の説明に使うのが最も合理的なのです。今日の占星術では、より計算しやすいように実際の星座ではなく、天体の通り道を十二等分したサインというものが使われていますが、名称は星座の名前をそのまま使っています。

☆サイン

占星術の専門家は、12 星座占いでいうところの牡牛座や魚座を、星座とはいわずサインといいます。占星術で扱うサインは、星座の名前を借りてこそいますが、実際の空の星座とイコールではないからです。ちなみに、こだわる人は、サインの名前を表現するときには、「牡羊座」のような星座名をそのまま使わずに、中国名の「白羊宮」を用いたり、座をつけずに「おひつじ」と表記したりします。本書では読みやすさの都合上、星座名を漢字で表記します。これらのサインには、後で説明するようにそれぞれに意味がありますが、根本的な理解としては天体の位置を示すための住所であると考えておきましょう。

☆ホロスコープ

それぞれの天体が、どのサインに属しているか。それを円形の図表にデザインしたのがホロスコープと呼ばれるものです。占星術を学ぶには、まずホロスコープを出すところから始めルべきと考える人も多いですが、本書では後回しにします。大切なのはホロスコープを読むことではなく、天体の状態分析の仕方を学ぶことだからです。もちろん、最後まで学んでいただければホロスコープが読めるようになりますので、その点をご安心ください！



西洋占星術の本質

☉Point

☆占星術の主役は太陽と月と惑星(天体)

☆星座は天体の位置を示す住所

☆占星術は天体の状態を分析する占い

☉用語チェック!

☆10大天体

太陽・月・水星・金星・火星・木星・土星・天王星・海王星・冥王星の10個の天体を総称したもの。

近代占星術では主に、この10個の天体を分析対象にする。

なお、太陽と月の2つは特に重要で、これらをまとめて、ライツやルミナリーズと呼ぶ。肉眼で観測することができなかった3つの星については、トランスサタニアンと呼ばれている。

なお十大天体以外にも、天体観測の発達に伴い、惑星と同様に恒星に対して自由に動いている星、いわゆる小惑星と呼ばれる天体が用いられることがある。キロン、リリス、セレス、パラス、ジュノー、ベスタなどが有名である。しかし、これらの小惑星はそれこそ星の数ほど存在するため、すべてを扱うときがない。

太陽

太陽は、西洋占星術の主役の中の主役です。西洋占星術を通じて人を理解するということは、すなわち太陽を理解するということです。そして、その人物の理解を元に運を開くというのは、太陽を活躍させるということでもあります。

雑誌やテレビなどで見かける十二星座占いは、英語では Sun sign astrology といいます。これは文字通り、生まれた日の太陽がどのサインに滞在しているかのみを材料にしたシンブルな占いです。本格占星術では様々な天体のサインやアスペクトを細かく分析して人物像を占います。それ故に十二星座占いは簡易的なものとして軽視されがちです。

しかし、実際に十二星座占いで自分の星座の性格を調べてみるとどうでしょう。細かいところまで大の中という訳ではないにしても、おおよその性格を言い当てられていると感じることがあるのではないかと思います。

これこそまさに、太陽が西洋占星術の主役であることの証拠です。詳細に分析せずとも、計算しやすくシンプルなサインの状況だけで、その人物の概略を言い当てることができるくらいに、太陽は人間に大きな影響を与える天体なのです。

太陽は、その人物の本質や、人生における目標、社会的な活躍などを総合的に占う天体です。ホロスコープの中の太陽は、その人物自身の主軸となるキャラクター性や人生に

おいて達成すべき目標を表しています。

その人物の仕事など、社会的な活躍を占うなら、まずは太陽を参照します。もちろん適職診断の参考にもなりますが、太陽を通じて考えるべき何より重要なことは、「どんな風に働くか」の考察です。例えば絵を書く仕事をするとして、自身の孤高の芸術を追究するのか、はたまた少しでも商業的に安定なイラストレーターを目指すのかなど、社会とどのように関わるかを判断することが、太陽の役割です。

太陽のサインは、十二星座占いがそうであるように、その人物の対外的な性格や社会的な雰囲気全体を象徴します。そして、太陽に対するアスペクトの状況は、社会との関わりを示す表示になる場合が多いです。太陽に対してよいアスペクトがあれば、たくさんの人から支えられる人生を示しますし、反対にアスペクトが極端に少ない場合は、社会と関わる窓口を作るのに苦労する場合があります。

太陽の状態を総合的に判断したときに、太陽がダメージを受けることなく悠々と輝いているようであれば、その人物は人生において苦労を知らずに過ごすことができるでしょう。逆に状態が悪ければ、人生の様々な場面における苦労を暗示します。

もちろん、すべてはバランスを総合的に解釈した上で判断するべきことではありません。しかし、占星術による開運を指すのであれば、太陽を正しく活用する方法を考えることが何より重要です。その人物が抱えている太陽の問題点を探り、それを解決する生き方を探すか、あるいはその問題点が目立たない生き方を探す方法を考えましょう。

point

☆ホロスコープの主役中の主役

☆人物の全体像を表す

☆人生の目的を占う

キーワード

生命力・パワー・偉大さ・気品・父親・社長・リーダー
自分自身・夫・可能性・心臓・黄金・王様・宮殿・高級品

記号とその意味



太陽の占星術記号は、太陽の見た目をシンプルに図表化した丸に点です。古代エジプトで、太陽神ラーのシンボルとして使われていたとされています。

実占でのチェックポイント

☆人生の総合運

どんな人柄か。人生の目標は何か。
サインを解説して人柄を読み取り、アスペクトやディグニティで、
人生が楽なのか試練が多いのかを読み取る。

☆適した働き方

バリバリ活動するべきか、もしくはゆっくりやるべきかなど、
仕事に対する取り組み方を鑑定する際の参考に。

☆結婚運

夫に求めるもの、または夫としての振るまいを占う。

太陽～全宇宙の王者



吉凶の区分	吉
一日に動く度数	約1度
一周にかかかかる時間	1年
サイン滞在日数	1ヶ月
逆行期間	しない
年齢域	24～34歳
支配するサイン	獅子座

牡羊座

十二星座の最初の一つは牡羊座です。最初の星座であるということが、すでにこの星座を読み解くヒントになっています。牡羊座の特徴を一言で説明するならばスピード感と純粋さ。日本語では猪突猛進という言葉がありますが、この言葉で言うイノシシのイメージが、占星術のヒツジのイメージです。決してか弱き子羊のイメージではないことをしっかりと覚えてください。

牡羊座は、火星の支配下に置かれているサインです。火星はご存じの通り、英雄の星であり、衝動的なものと関連しています。その影響を濃厚に受けている牡羊座にある天体も、積極的にパワフルな働き方をするようになります。慎重に行動するというよりは、感情に従ってストレートに行動することが、牡羊座によって与えられる特徴です。

例えば金星が牡羊座にあれば、一目惚れをして一直線に鯉にのめり込むような人物になるでしょう。水星が牡羊座にあれば、回りくどく面倒なことを考えるよりも、実際に手足を動かしながら考えるタイプの思考を持つことになります。

牡羊座のモットーとされる英文は **Be** です。自分が自分であることを大切にするというニュアンスです。そして、自分がそこにいることを叫ぶ自己主張の強さもお羊がもたら

す特徴です。牡羊座に滞在している天体は、良くも悪くも他人から見た人物評価に直結する、目立った特徴を与えることになるでしょう。

太陽星座が牡羊座の人物は、目の前の目標に向かってひた走る人物で、集団の中で目立つヒーローになりやすいです。良くも悪くもシンプルな考えを持っていて、すべての挑戦が勝利につながる一本道であることを信じています。一等賞のご褒美がなくてもとりあえず一位になりたいと考え、ライバルと競い合う傾向を発揮することもあります。

そして、牡羊座を語る上で欠かすことができないのは、英雄の気質の持ち主であるということです。自分の正義感に従って弱者を助けるような行動をとる、パワフルなアメリカンヒーローのような振る舞いをするのが牡羊座の最大の魅力です。考えるよりも先に手が出て人助けをします。

反対に最大の欠点は、根気に乏しいことです。物事にのめり込んで夢中になっているときでも、想像していたのとは違う壁に直面した瞬間に、あっさりリタイアしてしまうことがあります。主要な天体が牡羊座にある人が、課題を解決するために様々な試行錯誤を巡らせる必要に迫られたときには、何とか他のサインに助力を求めする必要があります。例えば、太陽や月が牡羊座にあって、金星が粘り強い他のサインにあるとしたら、趣味的分野を仕事に持ち込んで試行錯誤のモチベーションにするという具合です。

いくつかの欠点があるにせよ牡羊座の持つ突破能力の高さは、目を見張るものがあります。周囲を明るく照らす華やかさが牡羊座の最大の持ち味といえるでしょう。牡羊座のエリアは黄道上で最も賑やかな場所の一つです。

個人天体に与える影響

☆太陽

パワフルで行動的。新進気鋭。純情。熱しやすく冷めやすい

☆月

「自分」を手に入れるために一生懸命になる。

☆水星

シンプルな心理を見抜く直感力。粘りや根回しより直球。

☆金星

惚れっぽく一途。燃えさかる愛を貫く。時に一目惚れ。

☆火星

勝ち負けにこだわる。プライドが高く好戦的な一面も。

ノート

身近な人が受けている牡羊座の影響をまとめてみよう！

()の()が牡羊座

影響の実例→

()の()が牡羊座

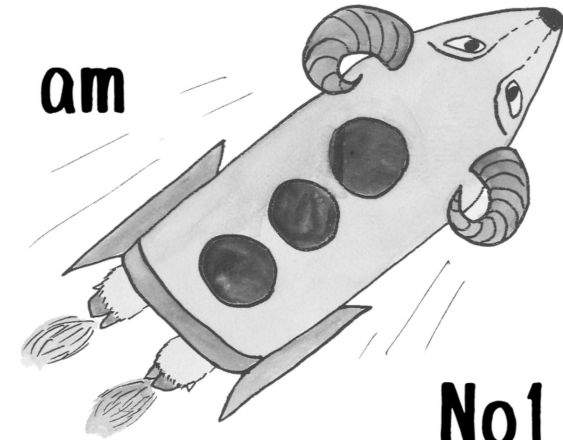
影響の実例→

()の()が牡羊座

影響の実例→

おひつじ

I am



No1

おひつじ座のキーワード

好き 激しい・早い・強い・かっこいい・闘争

嫌い 安定・単調・パズル・ねちっこい

長所 元気・怖い物知らず・場を明るくする

短所 早とちり・英雄気取り・衝動的

魅力 開拓者精神・危険な香り・将来性

欲望 勝ちたい・支配したい・褒められたい

立場別・問題点のキーワード

親子 子供と同じ目線で競う・子供の心や痛みに鈍感・ズケズケ入り込んでくる

上司 ワンマン・気まぐれ・面倒見が悪い

友人 振り回す・プライドが高い

恋人 素直になれない・熱しやすく冷めやすい
チャラそう・怒りっぽい